

はみがき名人になったよ

播磨西小学校

きちんとした歯磨きの習慣を身につけて、いつまでも歯を大切にできる子になってほしいです。



▲目指そう！むし歯ゼロ

毎回歯についてのお話を聞いたり、歯についての〇×クイズに答えたりしながら、友達と一緒にワイワイガヤガヤ楽しみながら歯の磨き方について勉強しています。スタート時には上手に磨けなかった子ども、最近では自分上手に磨けるようになってきました。



「キヤーツ、まっかつかだ」「みてみて赤くないはよなの…」歯磨き教室で毎回行っている歯の染め出しの時に、

チャレラン集会2005

播磨南小学校



▲人気のゲームコーナー

保護者、地域の方の温かい眼差しに見守られながら、楽しく心温まる一日でした。

第1部では、子どもたちの手によって、獅子舞、劇やダンスなどが披露されました。目を皿のようにして観ている子どもたちの瞳が印象的でした。第2部は、いよいよチャレランキング。それぞれに工夫の凝らされた種目が学校中に開かれました。たくさんの人に楽しんでもらうために、そしていっぱい楽しんでもらえるように、子どもたちは一生懸命でした。終わった時、「来年はどんな種目をしようかな」と、もつ次のチャレラン集会に心馳せている子どももいました。



2月5日(土)に、子どもたちが楽しみにしていたチャレラン集会が行われました。今年も、保護者に加え、PTAや地域の方々にも参加いただきました。



▲どのお店も大人気！

「昨日の野菜、お母さんと料理して食べたよ。おいしかった！」次の日、クラスの中はそんな話で盛り上がりました。野菜を身近かに感じた1日。名前もたくさん覚えられました。自分たちで育て、収穫し、値段をつけ、市場を開いた野菜は特別だったようです。

『いらっしゃ~い！おいしい野菜はいかがですかあ？』

播磨北小学校



野菜を収穫し、おうちの人を招いて野菜市場を開きました。どんな風に並べたら売れるかなあ？ グループごとに相談しながら、一つひとつ野菜の値段を決めていきました。その目は真剣。小さなお店屋さんの誕生です。他の店に負けないように、お客さんに売り込みます。自分たちも交代で買い物しました。

スキー教室

播磨南中学校



▲スキー教室サイコー!!

平成16年度も終わりに近づき、1・2年生にとっては、最後の思い出になるスキー教室が、1月26日(水)から28日(金)まで実施されました。1年生の感想は、「最初は辛かったのに、スキーがこんなに楽しくなるなんて思いもしませんでした。来年がとても楽しみです」「民宿での生活は楽しくて、食事は毎日すごくおいしかったです」「インストラクターの先生にはたくさん迷惑をかけたけど、少し滑れるようになってうれしかった」など、初めての体験で感動した様子が伝わってきました。2年生は、2年目の強みでほとんどの生徒がどんとまっく滑れるようになり、上達する喜びを実感しながらスキーを楽しむことができました。学校から離れ、大変貴重な体験ができ、スキーという生涯を通してできるスポーツが、また一つ増えました。

修学旅行

播磨南高等学校



▲初めはビクビク。でも、楽しかった。

1月29日(土)から2月1日(火)まで、2年生が北海道に修学旅行に行きました。朝早く午前5時40分に学校に集合し、バスで出発。伊丹空港から飛行機に乗って新千歳空港に行きました。北海道に到着後、新千歳空港からバスで札幌市内にあるテレビ塔に行きました。札幌市内を班行動で観光し、途中で、班別で昼ご飯を自由に食べました。その後、バスで宿泊地「ルスツリゾートホテル」に行きました。2、3日目はホテル前にあるゲレンデで、1班10人程度で各班にインストラクターが付いて、スキー実習をしました。初心者の人もかなり上手になりました。最終日は小樽を班別で観光し、そこでも昼ご飯を班で食べました。学校生活で一番の良い思い出になったと思います。

おしえて！消ちゃん先生。もし、火事を見つけたら

蓮池小学校3年生



▲機能満載の消防自動車

1月20日(木)、3・4時間目。正しい通報の仕方を教えていただきました。 「119番消防です。火事ですか、救急ですか？」 「火事です」 「場所はどこですか？」 「えーと…」

慌てず119番に電話をかけます。加古川管内で去年1年間に169件もの火事があったそうです。2日に1回火事があったということ。その多さに、「えーっ」という声。クイズで火事の原因を聞かれた子どもたちは、いろいろ答えるのですが、なかなか当たりません。1位放火、2位焚き火が原因だと教わりました。消防署では、119番の連絡を受けると、5分以内に火事や救急の場所に駆けつけられるということ。すーい。運動場では、消防自動車を見たり、消火訓練を体験させてもらったりしました。

チャレンジ精神を発揮した「播磨っ子デイ」

播磨小学校



▲そば打ちに挑戦

2月5日(土)、子どもたちが楽しみにしている「播磨っ子デイ」が実施されました。この活動は、全校生が学年・学年の枠を越えて、自らチャレンジしたい体験活動を選び、地域の指導者の皆さまから、スポーツ・文化・生活の知恵などについて学ばせていただく活動で、21世紀の幕開けとともに誕生しました。年々講座内容をより充実させ、播磨小学校の伝統ある教育活動の一つになりつつあります。本年度は、そば打ち、和太鼓、絵手紙、作詞作曲、スナッグゴルフなどの新講座を含め、合計19講座、58人も地域の指導者の皆さまにお世話になりました。どの講座も播磨っ子たちが生き生きとチャレンジし、達成感を味わうことができました。地域の皆さま、本当にありがとうございました。

“新生徒会”始動！私たちの手で、伝統の1ページを

播磨中学校



▲“新生徒会”のメンバー

播磨中学校は、創立59年を迎えました。その輝かしい伝統を受け継いで、“新生徒会”の活動もさらに充実・発展の1年を目指しています。最初の取り組みは、スマトラ島沖大地震への義援金募集でした。朝早くから、おはよう・あいさつ運動も兼ねての取り組みには、多くの関心が寄せられました。募金の中には、近所の方や、1年生をスキー場まで連れて行ってくださった、観光バスの運転手さんの善意も含まれていました。そんな日々のニュース、部会報告、問題点への提案、呼び掛けなどを、「月刊必読」(毎月必ず読んで欲しい)という思いを込めて名付けた生徒会報の紙上にて、より多く掲載していきたいと思っております。一人ひとりの思いを大切に、楽しい学校づくりを目指します。

阪神・淡路大震災後、壊れた家の解体作業を依頼されました。「私の家だけがきれいになっては近所の皆さまに申し訳ありません。この際希望される方全員一緒に解体していただませんか。皆さまへの連絡、取りまとめは私共がいたしますので」と元町内会長の奥さまに言われました。震災で御主人を亡くされたのに、その心意気にただただ感動するばかりでした。長田区御屋敷通り1丁目には在日の外国人も多く住む国際色豊かな町で、解体は50軒余りで、2カ月程で終わりました。奥さまの言葉通り、昼夜を問わず被災者への連絡や国を越えた感謝の気持ちで温かいふれあいの数々、そのときのことは私の一生の中でも貴重な体験であり、私の心に深く何

かを残しました。それから後、播磨町の同じ地域の町会議員の方と話す中で「定年後はどうするの」「何か出来ることがあればなんでも」というのが話の発端で、自信は無かったが民生委員を引き受けました。その後、あちこちのボランティアのお手伝いをさせていたたいです。

震災10年目の1月17日、私はまた貴重な体験をしました。それは加古川市の盲人福祉協会の会長さんと目の不自由な方8人とのウォーキングに参加したことです。私は会長さんの杖となつて、神戸駅を9時30分に出発。大倉山、ハット神戸の防災センターを経て三宮の東遊園地に立ち寄り、JR三ノ宮駅までの6時間、ピットリ

ボランティアと私

あなたに
はつたつた

リレーエッセー⑧



三上 年一さん (北本荘)

趣味 ゴルフ、ウォーキング

と2人で歩きました、その間に色々なことを学びました。何気なく聞いている横断歩道のメロディも、「ビヨビヨ」と「カッコーカッコー」の音に全国统一されている話、目の不自由な方と車いすの方とのバリアフリーの考え方の違いなど、また「障害者の人には、余り気を使わずに気軽に接してください。話に夢中になって段差のところでも少々失敗があっても、それも一つのふれあいです、される側にとつては、押し付けのボランティアはかえって迷惑です、今日も私は、自分から参加したいという障害者だけに来てもらいました」とのことでした。

その日一日のこの感動を心に刻んで、地域や障害者の為に役立つことがあれば、今後も頑張るつもりです。

わんぱくはりまっ子



みずもり ゆうき 水守 優貴くん (2さい) 野 添

いつまでも優しく明るい子でいてね (パパ・ママより)



このコーナーに出てください「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

生活リズムは整っていますか？

子育て支援センター

春になると子どもも大人も新しいお友達との出会いや、新しい生活ができる楽しい季節です。子育て支援センターにも次々と赤ちゃん誕生のうれしい知らせがきています。

支援センターを最もよく利用されているのは元氣一杯の1~3歳の子どもたちです。この幼児期が子どもの生活習慣の基本となる「遊ぶ」「食べる」「寝る」を、ゆっくり時間をかけながらしっかりと身に付ける大切な時期です。私たちが毎日子どもたちと接しながら、気になっていること、育児相談にもよくあがっていることです。

子どもが眠くなるまで待つのではなく「8時になったら寝るよ」と、お母さんが時間を決めて動くことが必要です。外で遊んでいる時「お昼ごはんだから帰ろうね」と遊びをやめて帰るのも同じです。初めは、嫌がって泣いたりいろいろ抵抗をしますが、う。でも、繰り返して繰り返して生活の流れが子どもなりに分かってくる、「お風呂に入ったら、パジャマを着て絵本を読んで、おやすみなさい」と習慣になってきます。それまでは、まさに親子で根くらへになるでしょう。一時的には大変かも知れませんが、この生活リズムが整つと子どもは心身共に安定し、遊びを楽しめるようになります。これがまた、次の成長への大きな力となっていきます。

冬でも体はぽっかぽか!!

播磨西幼稚園



みんな「ハッスル」が大好き

「何か暑くなってきた!」という声が聞こえてきて、風の冷たい日でしたが、皆の体はぽっかぽかに温まったようです。強い体になあれ。

毎朝、鬼ごっこや縄跳びなど、思い切り体を動かして遊んでいます。そんな中、年少児と年中児で、「一緒にしっぽとりをしよう!」ということになりました。年少さんが年中さんにしっぽをつけてもらい、「よいスタート」。年少さんはしっぽを取られまいと一生懸命に走ります。「○○ちゃん、頑張れ!!」と、しっぽを取られた子どもたちも友達の手援に一生懸命です。その後、皆でかいつぞろりの「ハッスル」の曲に合わせて体操をしました。「何か暑くなってきた!」という声が聞こえてきて、風の冷たい日でしたが、皆の体はぽっかぽかに温まったようです。



「昔の暮らしの道具」って、すごい!!

蓮池幼稚園



「のすらいし道具を見て「こんな初めて」

「回したら切れるな!」など、昔の道具に感心の声しきりでした。

「こんなのでごはん炊いてたのか!」「回したら切れるな!」など、昔の道具に感心の声しきりでした。



2月17日



まきでごはんを焚くんやー

「ほんわかデー」で心もほんわか!

播磨幼稚園



しょうず! しょうず!

輪になって楽しいね

「今日会う日は、何して遊ぶ?」「つぎの『ほんわかデー』を楽しみに待っています。

「また、遊びに来てね」と、子どもたち。「またお家の近くで会おうね!」いつもみんなから元気をもらっているよ! 「ありがとう」とおじいちゃん、おばあちゃん。お互いの心が通い合った楽しいひとときを過ごしました。

「今日は、5回目の『ほんわかデー』地域のおじいちゃんおばあちゃんが、園に遊びに来てくれる日です。

「あやちゃん遊びに来たよ」と、顔も名前も覚えてきています。

「お話し遊び見てね」「一緒にダンスしよう」と、口々に話しかける子どもたち。早速手をつなぎ笑顔いっぱいダンスの始まりです。

「今日は、5回目の『ほんわかデー』地域のおじいちゃんおばあちゃんが、園に遊びに来てくれる日です。

「あやちゃん遊びに来たよ」と、顔も名前も覚えてきています。



おじいちゃん手をつなごう

世界にひとつだけだよ

蓮池保育園



ここに窓を開けるぞ。小さな芸術家



わあ! すごい。本物みたい



わたしの家、これだよ。ぼくの家、光ってる

「せつけいず」通りにできたかな



何回も散歩に出掛けた大中国古代の村。よく遊んだ昔の家。卒園記念として5歳児は昔の家作りに取り組みました。

「こんな家がいいなあ」と設計図も描き、土をこねる姿、へうで型作っているまなざしは真剣そのもの。でき上がった作品は世界にたった1つだけのぼくの、わたしの宝物です。